

The Future

未来につながる 青山高校不登校教育プログラム

不登校からの大学進学を実現する全寮制教育

欠席 415 日でも 国公立大合格

過去5年
126人の
不登校経験生徒
データを公開

- 欠席が多くても大学進学できる
秘密とは？
- 家から出られない子がなぜ全寮制
を選ぶのか。
- 中学範囲の復習からスタート
するから安心です。
- 学習のフォローだけでは
伸びません。大切なのは
生活習慣です。



大学進学を実現する3つのポイント

全寮制・青山高校では、20年以上前より不登校経験生徒の受入を行なっています。寮生活を通じた不登校教育プログラムで生活習慣を改善し、遅れた学習をフォローするシステムを構築してきました。現在では、不登校を経験して入学をしてくる生徒の大半が大学に進学することができるようになりました。

① 中学範囲のふりかえり学習

中学校範囲の遅れている部分の学習をしっかりと振り返って学びます。特に生徒たちが苦手な英語は丁寧に指導しています。わかる範囲からスタートできるのでスムーズに学び始めます。

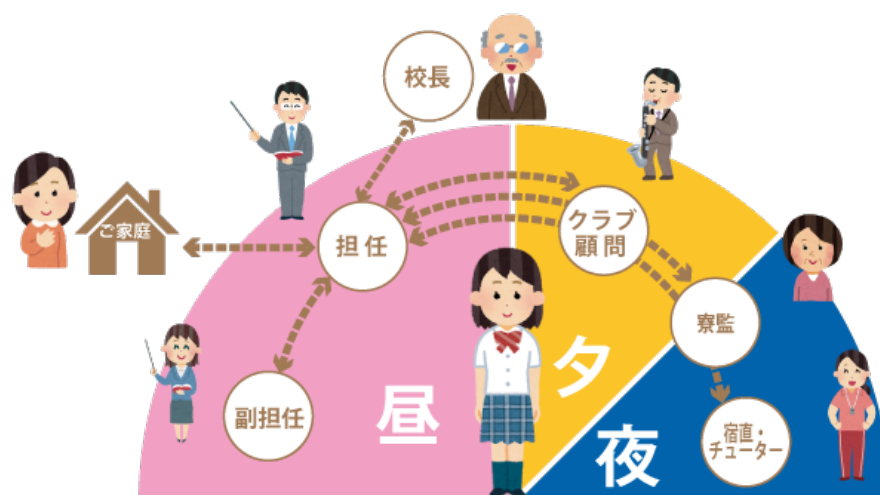
② 授業×寮＝ダブルスクール不要

【成績アップ】寮では、夜間にゼミが開講され自習の時間もあります。ゼミや自習の内容は学校の授業とリンクをしているので、復習や予習をしっかりと行うことができます。寮で学習したことを翌朝のホームルームで確認テストをして定着をはかります。このように授業と寮が連携することで成績アップに繋がります。

【生活リズム】不登校期間中に崩れてしまった生活リズムを取り戻します。また、寮で毎日学習をすることで学習の習慣も身に付きます。

③ 1人の生徒に5人の教員が連携サポート

生徒が安心して寮生活を送られるよう、青山高校では寮と学校で連携し合い、1人の生徒を5人以上の教員が担当しています。生徒の様子を校長を交えた毎朝の教職員ミーティングで確認し、変わったことがあればお互いに報告し合っています。

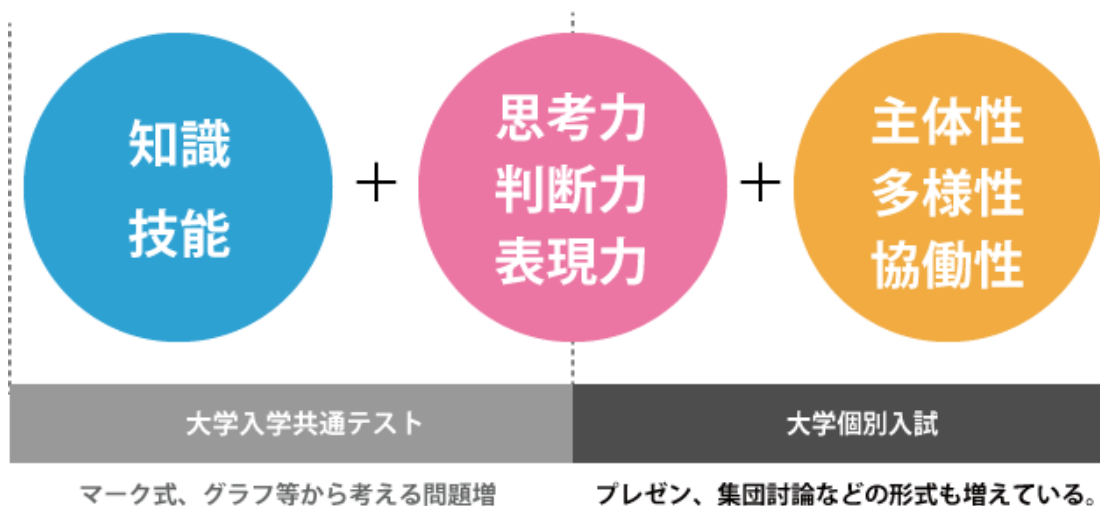


生徒の学習状況や進路希望なども共有することで、学校全体で1人の生徒の進路実現をサポートする体制となっています。特に不登校を経験した生徒は注意深く見守っています。

大学入試改革にも対応

青山高校では、令和2年度から本格的に始まった大学入試制度改革に対応した学習指導や進路指導を行っています。

総合的に評価される3つの要素



知識以上が求められる新入試

以前の大学入試問題は「知識・技能」が中心でしたが、AIの普及・進化に伴う産業構造の変化等により、社会を生きる力として課題解決能力などが求められるようになったことが背景にあります。

青山高校では、特別課外授業「Aoyama Boarding Class」を通じて実践的な思考力や主体性を育む活動を行っています。(8P 参照)

調査書の情報量が増加

大学に提出する調査書の様式が大きく変わり、調査書に記載する情報量が増加しました。学習の様子、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験、取得資格、検定、表彰の記録等を具体的に記載します。つまり、高校生活の取組み充実度が評価されます。(6P～9P 参照)

The table shows the structure of a university application survey form. It is divided into several sections: '学業' (Academic), '課外活動' (Extracurricular Activities), '資格・検定' (Qualifications/Examinations), and '表彰' (Awards). Each section contains specific sub-items to be filled out by the student.

英語は4技能重視

従来の「読む」「書く」だけでなく、「話す」「聞く」能力が重視されるようになりました。青山高校では、英語検定を積極的に活用することで4技能の習得を目指しています。また、寮学習では中学校範囲の簡単な英語からスタートしながら力をつけています。(7P, 12P 参照)

不登校を経験した子ども 3つの心配

不登校を長期間続けていくとさまざまな心配が増えていきます。大学を目指したくても、心配が重なり合って現実的に諦めてしまう子どもも多いことでしょう。青山高校では、そんな不登校経験の子ども達が心配を乗り越えて大学進学するための「不登校教育プログラム」を開発し実践しています。

1：生活リズムの乱れ

不登校になると、朝起きられない、昼夜逆転などで生活リズムが乱れてしまう子どもがいます。生活リズムを戻すことは大変で、不登校から抜け出せなくなる一つの原因であると考えられています。



2：学習の遅れ

不登校期間中に、自宅学習を進めることのできる生徒は一握りしかいません。多くの生徒が、休んだ期間だけ学習が遅れています。「このままでは高校に進学しても付いていくことはできない」と思う子どもが多いようです。そこで安易に学習の必要がない進路を選んでしまいます。



3：コミュニケーション

お家にずっといると「人に出会うのが怖い」という心理状態になっていき、どんどん外出が苦手になります。そうやって誰とも会わない期間が長くなると、コミュニケーション能力が育たずに復帰が難しくなります。

AOYAMA

不登校の原因は「感受性の強さ」にあります



青山高校（不登校教育チーム）は長年の研究の結果、不登校になってしまう子どもの多くが「感受性が強い」という傾向があることを発見しました。「少しの事が気になる。傷つきやすい。周りの雰囲気左右されやすい。こだわりが強い」タイプの子供です。思春期になると、自分の感受性をコントロールできず、うまく周りに合わせられずにストレスを抱え込んでしまいます。

こういった子どもには「細かいことを気にするな」というアドバイスは逆効果です。感受性の強さは個性であり、その子の長所です。青山高校では個性を伸ばす教育を行なっています。

不登校教育プログラム（回復→成長→発展）

青山高校では3つのステージでお子様を大学受験まで導きます。まず、「回復ステージ」で生活リズムを整えて学校生活に慣れるようにサポートをしています。

■回復ステージ

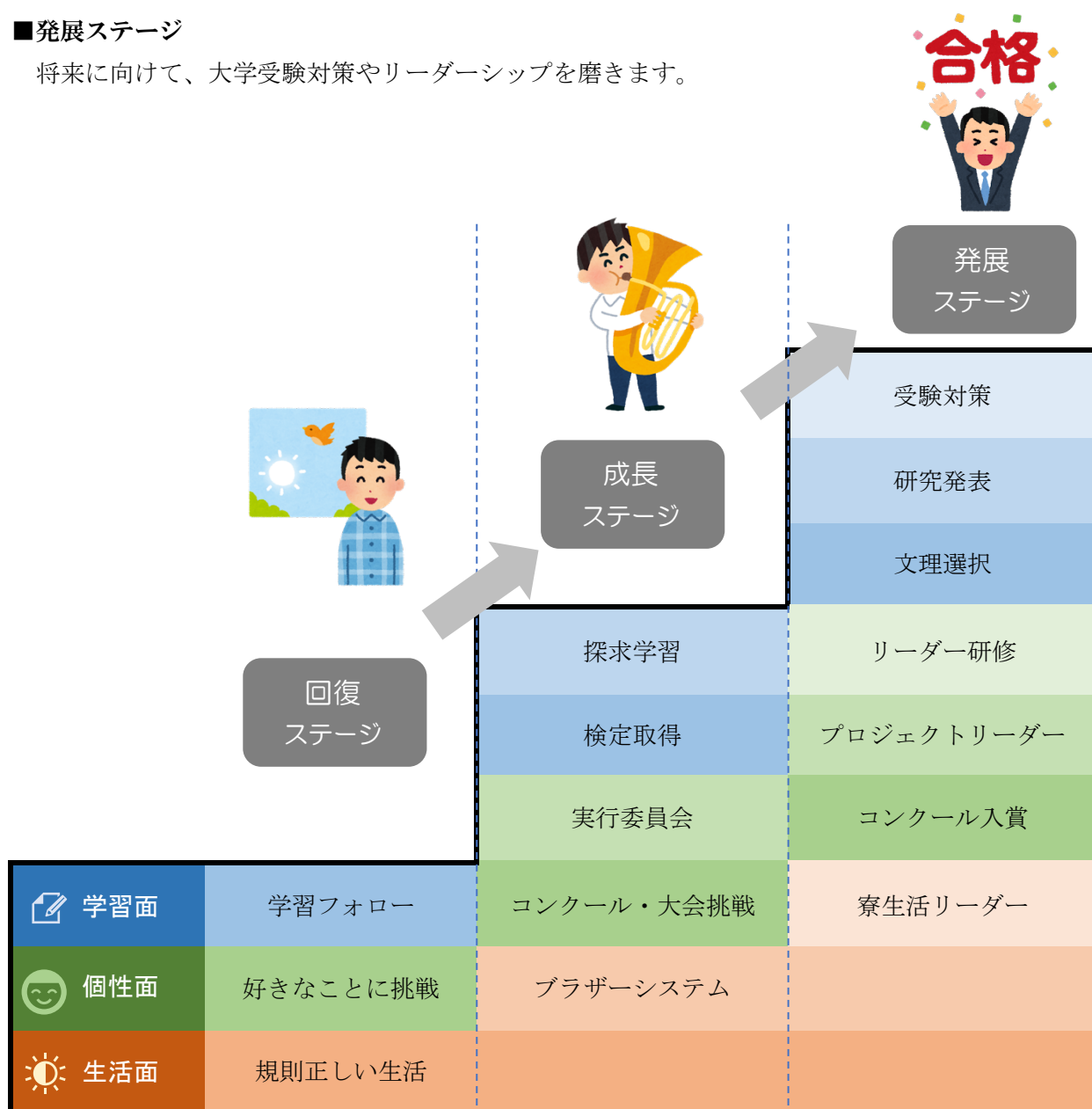
乱れていた生活を正し、学習面のフォローを行います。自信の回復を目指します。

■成長ステージ

学校生活に慣れてきたら、青山高校の様々な活動にチャレンジします。

■発展ステージ

将来に向けて、大学受験対策やリーダーシップを磨きます。



回復ステージ（自信を取り戻す）

不登校時に生活が乱れ、ゲーム依存や起立性調節障害になっている子どもも多くいます。入学初期の回復ステージでは、みんなと同じように生活することを目指します。

☀️生活リズムを整える

不登校になると朝が起きられずに“起立性調節障害”と診断される子どももいます。保護者の方は「朝、起きられるのか？」と心配をされます。実は、我々はその心配はほとんどしていません。不登校経験生徒の多くが、入寮した翌朝はきちんと起きてきます。それが続けば朝になれば目が覚め、3食のご飯をきちんといただくという当たり前の生活リズムを身につけることができます。

【ブラザーシステム】

青山高校の寮では、同室の世話係の先輩を「ブラザー」と呼んでいます。入寮してしばらくはブラザーの先輩の生活サポートを受けながら生活をします。学校では、ブラザー選びは慎重に行います。同じ趣味や出身地・性格などを考慮して選びます。不登校を経験した新入生の場合には、同じ気持ちがわかる不登校を乗り越えた先輩がブラザーになります。入学時点のブラザーは「初期ブラザー」と言われ、卒業しても覚えているほど大切な存在です。



📖学習の遅れを取り戻す

青山高校では、学校と寮が連携しながら学力を身につけていきます。特に不登校経験生徒の場合、2つの方向から学習の遅れを取り戻していきます。学校では担任が、寮ではチューター（学習担当寮監）がサポートします。

【中学範囲から】

中学範囲の復習から進めていきます。特に多くの生徒が苦手としている英語は、中一の最初の単語を覚えるところから始めます。英語の発音やリスニングにも力をいれています。



【学習習慣を身につける】

青山高校では、自学自習の習慣を身につけることが、最も大切であると考えています。「お母さんや先生に言われるから勉強する」のではなく、自分で目標を立てて管理できる生徒を目指します。寮では1日1時間～2時間の自習時間を設定しています。自習時間で課題をこなしているうちに

学習の習慣が身についていきます。



様々な活動に挑戦！

さまざまなことに挑戦する中で、居場所づくりと友達づくりを行なっていきます。入学してしばらくは、さまざまなイベントが用意されており、放課後のクラブ活動、寮でのサークル活動などにも挑戦します。自然と同じ趣味の子たちが集まるので友達ができやすい状況になります。

【4月上旬：寮歓迎イベント】

入寮して最初の日曜日には、スポーツ大会やゲーム大会、バーベキューなどがあります。みんなとワイワイ楽しんで、新しい友達を作ることができます。

【4月上旬：部活動見学&体験】

1週間ほど、部活体験の期間があります。この期間にいろいろな部活を見学&体験することができます。感受性を伸ばす全国レベルの部活動がいくつもあります。



【4月下旬：寮歓迎遠足】

例年は、USJ やナガシマスパーランドなどの遊園地に出かけます。少し寮生活に慣れてきたところで、さらに交友関係が広がります。

【4月下旬：ルーキーステージ】

新入生が主役のイベントです。スピーチコンテストや、1ヶ月間頑張ったことを表彰します。ここで一気に感受性が発揮されて輝く生徒もいます。ルーキーステージが終わると、GW 期間の帰省となります。

AOYAMA

生活習慣として身に付く寮教育

毎日、寮のみんなや先生と一緒に学習をすることで、知らず知らずのうちに勉強することが習慣になっていきます。生活を通じて身につけていくことができるのが寮教育の最大のメリットです。

特に不登校を経験した子どもは、「不登校という生活習慣」が身につけてしまっています。じっくりと時間をかけて寮生活に慣れていくことで、朝チャンと起きたり自分で勉強をしたりという当たり前の生活習慣が身につけていきます。



成長ステージ（可能性を広げる）

寮生活に慣れてきたら、さまざまな活動にチャレンジしていきます。そして、生活では後輩ができてお世話をされる側からお世話をする側を体験します。

☀️ 後輩ができる

新しい生徒が入学してきたら、次はお世話をするブラザーの役になります。新入生の時の気持ちを思い出しながら、「こういうことが不安かな」「困っていることはないかな」と思いやりの心を学んでいきます。



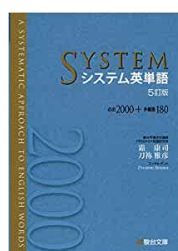
【学習リーダー】

寮の一斉自習や夜間ゼミの時間帯に、寮の学習委員生徒が後輩を教えるという機会があります。後輩に勉強を教えることで自分の理解をより深めることもできますし、寮生の絆も強くなっていきます。

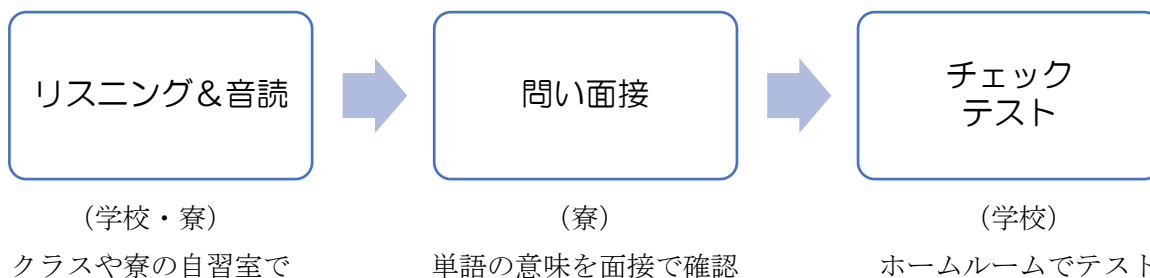
📖 検定取得に挑戦

英語検定・数学検定・漢字検定に1年生の6月ごろから挑戦します。まずは中学卒業レベルの3級合格からスタートし、高校卒業時にはそれぞれ2級（共通テストレベル）取得を目指します。

■寮学習テキスト（例）



■学習の進め方（例）



😊 Aoyama Bording Class 社会で輝く力を

青山高校では特別課外授業「Aoyama Bording Class」が用意されています。アメリカの寮制高校（通称：boarding school）の多彩なプログラムを取り入れた活動が、「AOYAMA BOARDING CLASS」です。毎週2回午後の時間帯を中心に、異なる7つの分野で、企画・活動・報告のサイクルにチャレンジします。これらの活動を通して、「外向き志向」「コミュニケーション力」「企画遂行力を身につけます。

【ホスピタリティ・サービス】

地元のイベントの運営スタッフやボランティア活動を通じて貢献することを学びます。また、三重県伊勢市にある有名ホテルでのマナー研修やホスピタリティ研修なども行っています

【探求活動】

生徒自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換・協働したりしながら進めていく学習活動です。チームとして発表活動をすることで、コミュニケーション能力やプレゼン能力も磨かれていきます。

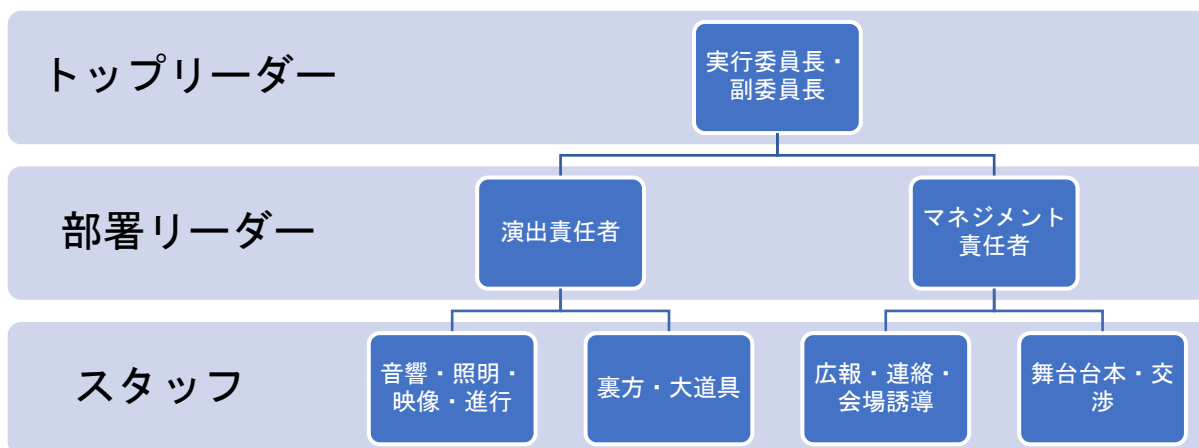


【リーダー研修】

「7つの習慣」をベースに、リーダーシップを学びます。企業経営者との懇談会や企業訪問なども行い、対話を通じて「社会との関わり方」や「人を動かすこと」などを体感します。

【実践型リーダーシップ】

学校行事などのイベントを運営しながら、実践的なリーダーシップを学びます。イベントごとにプロジェクトチーム（行事实行委員会）を結成し、企画・運営を行います。大きな行事では100人規模の実行委員会となり、部署ごとにリーダーを置いています。



発展ステージ（将来に向けて）

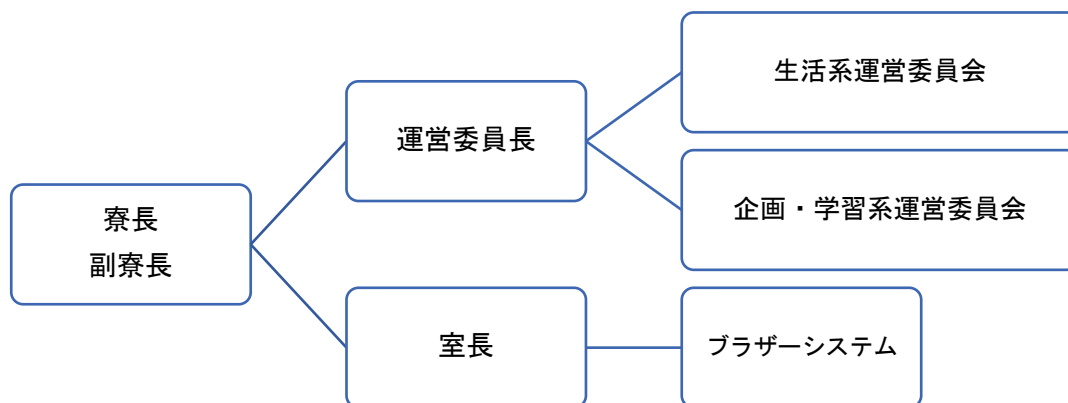
高校2-3年生になるころには、多くの後輩もできて積極的にさまざまな活動にチャレンジすることができるようになります。卒業後の進路や将来に向けて自らを高めていくステージです。

☀️ 後輩たちのお手本に

高学年になると、後輩たちの生活の手本になるだけでなく、室長や委員長など寮生活の上でもリーダーを経験することになります。

【寮運営委員会】

青山高等学校の寮では、寮運営委員会が自分たちの生活を豊かにするために活動を行っています。その中心となるのが寮長です。これまでさまざまな場面でリーダーを経験し、生徒たちや先生からの信頼の厚い生徒が寮長に選ばれます。



😊 海外研修・グローバルな経験で外向き志向を

地域貢献活動やさまざまな研修を行ない、学外の方と触れることで外向き志向を身につけます。



【高校2年：オーストラリア研修旅行】

ホームステイをしながら、現地語学学校で1週間の英語プログラム授業をレベル別で受講します。

【津市イベント・ボランティアスタッフ】

地元のお祭りやイベントのお手伝いをしています。地域の方と交流することで外向き志向やコミュニケーション力を育てます。

大学受験に向けて

志望校合格に向けて、本格的な学習が始まります。

【進路ガイダンス】

自らの進みたい学部や将来やってみたい仕事と照らし合わせながら、進路を決めるためのガイダンスを年に数回行います。

【出張で出前講義】

大学の講師が、青山高校で出前講義を開催してくれます。多くの講座から選択受講し、自分の学びたい分野を決めて、実際の大学の授業を体験することができます。

【大学見学ツアー】

愛知県や京都府の大学を中心に年に数回ツアーを行います。卒業生のいる大学では、研究室の説明や大学生活の説明などを聞くことができます。

【大学受験対策ゼミ】

高校2年生からは、本格的に志望校に向けた学習がスタートします。授業だけでなく、放課後に特別ゼミが開講され演習を中心に学力アップを目指していきます。

(国公立対策ゼミ・早慶ゼミ・南山対策ゼミなど進路に合わせて開講します。)

【校内模試】

大学共通テスト直前になると、実際の試験の時間帯で模試を実施します。

AOYAMA

受験対策は徹底した個別指導で

高校3年になり大学受験の対策が本格的に始まると、担任・寮の先生による個別受験指導が行われます。大学入試改革により、それぞれの大学の入試が特色化されてきたこともその一因です。

生徒1人ひとりの個別進路ファイルが用意されており、3年間を通じて成績や活動・表彰歴などを管理しています。生徒の学力や志望・適性を常に把握しながら志望校合格に向けて指導を行っています。



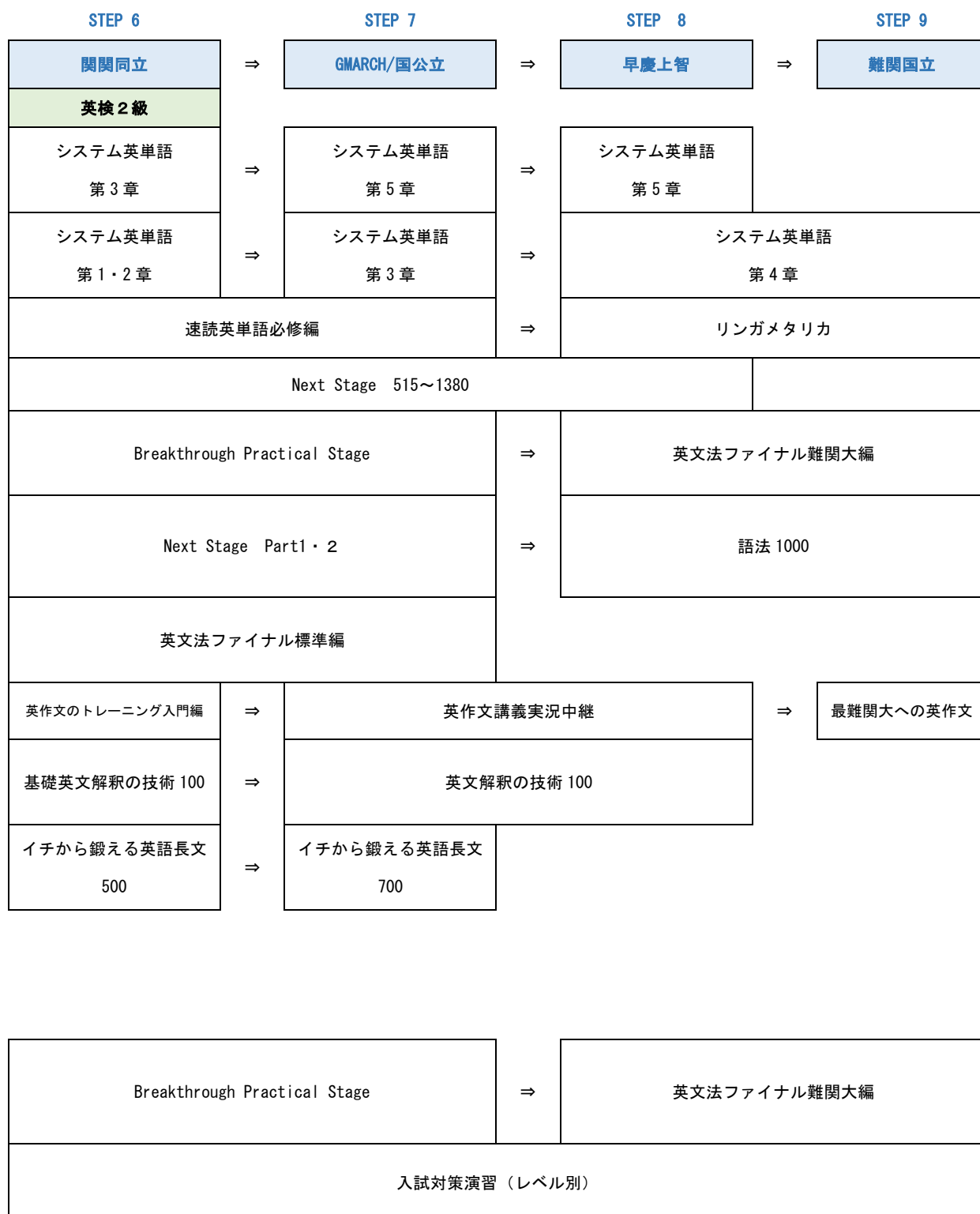
AOYAMA 英語学習プラン（中学範囲の復習～難関大まで）

不登校経験者には、STEP1～2 を丁寧に学習するところから始めます。

		STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5	
学習レベル		学習基礎		⇒	大学入試基礎	⇒	中堅私大
検定		英検 3 級	⇒	英検準 2 級			
寮学習	発音	ユメタン 0	⇒	システム英単語 第 1 章	⇒	システム英単語 第 2 章	
	英単語	ユメタン 0	⇒	システム英単語 第 1 章	⇒	システム英単語 第 2 章	
	イディオム					Next Stage 515～1380	
	英文法	コスモライブラリ		⇒	Breakthrough36 章		
				英文法語法のトレーニング 基礎講義編	⇒	英文法語法のトレーニング戦略編	
	英作文	コスモライブラリ					
	英文解釈			英文法語法のトレーニング 基礎講義編	⇒	英文解釈の技術 70	
	長文読解				イチから鍛える英語長文 Basic	⇒	イチから鍛える英語長文 300

授業	スピーキング	即興スピーキング				
	文法	コスモライブラリ		⇒	Breakthrough36 章	
	長文	All Aboard I		⇒	All Aboard II	⇒

大学入試改革に対応し、英語の4技能（読む書く聴く話す力）を伸ばします。



※この表は、年度によって変動します。

不登校経験からの大学進学（過去5年間より抜粋）

大学名	学部名	中学3年間 欠席日数	大学名	学部名	中学3年間 欠席日数
国公立大学/準大学校			大阪電気通信大学	情報通信工学部	197
千葉大学	理学部	415	大阪電気通信大学	情報通信工学部	83
信州大学	人文学部	315	大阪電気通信大学	工学部	317
金沢大学	医薬保健学域	184	大妻女子大学	文学部	68
滋賀大学	経済学部	428	神奈川大学	法学部	94
三重大学	教育学部	285	神奈川大学	法学部	540
香川大学	創造工学部	362	神奈川大学	法学部	550
島根大学	生物資源科学部	214	金沢工業大学	工学部	157
都留文科大学	教養学部	314	川崎医療福祉大学	医療技術学部	335
長野県立大学	グローバルマネジメント部	39	関西外国語大学	外国語学部	46
滋賀県立大学	工学部	402	関東学院大学	人間共生学部	143
大阪市立大学	商学部	45	岐阜聖徳学園大学	外国語学部	189
防衛大学校	人文社会科学専攻	346	九州産業大学	経済学部	357
私立大学			京都産業大学	法学部	256
愛知大学	経済学部	170	京都産業大学	法学部	328
愛知大学	現代中国学部	52	京都産業大学	現代社会学部	112
愛知大学	国際コミュニケーション学部	428	京都産業大学	法学部	157
愛知学院大学	心身科学部	136	京都光華女子大学	健康科学部	394
愛知学院大学	経営学部	267	京都先端科学大学	経済経営学部	266
愛知学院大学	法学部	287	京都精華大学	まんが学部	96
愛知学院大学	薬学部	326	近畿大学	産業理工学部	222
愛知淑徳大学	ビジネス学部	175	近畿大学	産業理工学部	223
垂細垂大学	経済学部	126	近畿大学	工学部	273
垂細垂大学	法学部	157	近畿大学	工学部	391
垂細垂大学	経済学部	167	近畿大学	建築学部	550
桜美林大学	リベラルアーツ学群	322	近畿大学	経済学部	355
大阪芸術大学	芸術学部	268	皇學館大学	文学部	112
大阪産業大学	経営学部	481	皇學館大学	文学部	227
愛知大学	経済学部	170	皇學館大学	文学部	439
愛知大学	現代中国学部	52	大阪電気通信大学	情報通信工学部	197

大学名	学部名	中学3年間 欠席日数	大学名	学部名	中学3年間 欠席日数
神戸芸術工科大学	芸術工学部	66	豊田工業大学	工学部	137
神戸松蔭大学院大学	文学部	214	名古屋外国語大学	世界共生学部	112
駒澤大学	文学部	252	名古屋外国語大学	世界共生学部	289
埼玉工業大学	工学部	141	名古屋外国語大学	外国語学部	296
実践女子大学	生活科学部	271	名古屋外国語大学	外国語学部	446
淑徳大学	人文学部	59	名古屋学院大学	法学部	317
聖隷クリストファー大学	リハビリテーション学部	125	名古屋学院大学	現代社会学部	541
摂南大学	外国語学部	214	名古屋経済大学	経済学部	203
専修大学	法学部	167	名古屋芸術大学	デザイン学部	379
専修大学	法学部	480	奈良大学	文学部	133
専修大学	法学部	109	二松學舎大学	文学部	168
専修大学	商学部	126	日本女子大学	家政学部	108
専修大学	法学部	465	日本大学	文芸学部	34
上智大学	文学部	218	日本福祉大学	子ども発達学部	127
千葉工業大学	工学部	292	武蔵野大学	文学部	490
中京大学	工学部	285	名城大学	薬学部	108
中京大学	工学部	150	名城大学	農学部	107
中部大学	応用生物学部	171	名城大学	法学部	108
帝塚山学院大学	人間科学部	164	立教大学	観光学部	84
東海学園大学	教育学部	103	立命館大学	文学部	140
東海大学	海洋学部	207	龍谷大学	文学部	196
東京農業大学	地域環境科学部	349	龍谷大学	理工学部	275
東京農業大学	国際食料情報学部	16	流通経済大学	経営学部	109
東京農業大学	生命科学部	87	流通経済大学	経営学部	357
同志社大学	法学部	252	名古屋商科大学	経営学部	174
同志社大学	文学部	368	名城大学	農学部	107
同朋大学	社会福祉学部	135	名城大学	法学部	256
東北学院大学	教養学部	492	早稲田大学	教育学部	205
獨協大学	経済学部	160	早稲田大学	国際教養学部	175
神戸芸術工科大学	芸術工学部	66	早稲田大学	教育学部	414

[DATA]不登校経験生徒の成績推移（昨年度卒業生3年間の英語偏差値）

千葉大学 理学部（中学欠席日数 415日）

中学2、3年生はほとんど学校に出席していませんでした。学習も2年分遅れていましたが、入学後に中学範囲の復習からスタートしました。遅れを取り戻すためにコツコツと真面目に毎日の学習に取り組み、高校2年生になると大きく成績を伸ばして、国公立大学進学を果たしました。

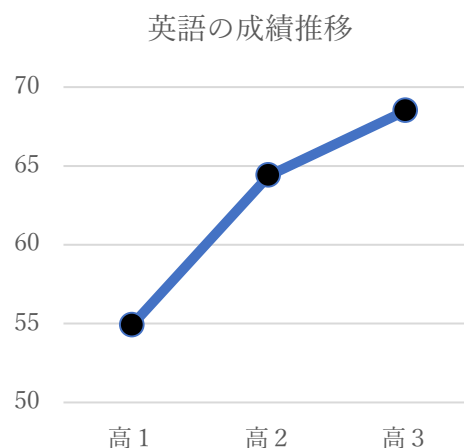
<資格など>・英語検定2級・漢字検定2級・数学検定2級



早稲田大学 文学部（中学欠席日数 205日）

不登校期間も長く、おとなしい性格の生徒でした。不登校期間中は大好きな絵を描いていたようです。入学後は美術部で作品作りに取り組み、学校行事のプログラム表紙を作成してくれました。津市の文化祭のプログラム表紙も担当しています。学習にはコツコツと取り組み、早い段階で英語検定2級にも合格してくれました。

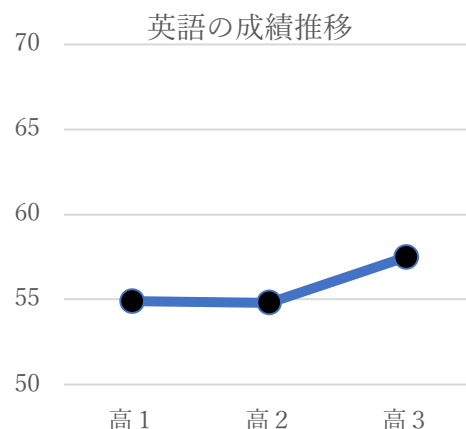
<資格など>・英語検定2級・漢字検定2級



金沢大学 医薬保健学域（中学欠席日数 184日）

勉強や人間関係の悩みから不登校になってしまいました。入学後にはすぐに友達もできましたが、不安になることも多く心配な面もありました。部活動と学習を両立しながら、学校行事などにも積極的に取り組むようになり、学習面でも力をつけてきました。最終的には国公立大学へ進学をしました。

<資格など>・英語検定2級・漢字検定2級・数学検定2級

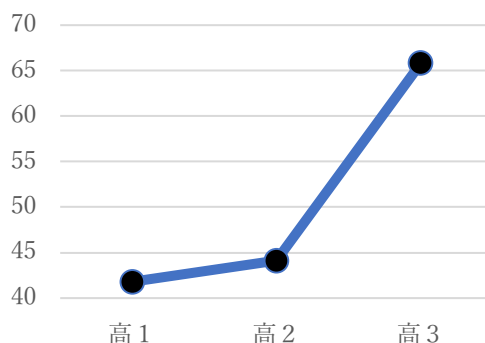


同志社大学 文学部 (中学欠席日数 368 日)

絵が趣味で、漫画やイラストなどを描くことが好きな生徒でした。美術部で活動する傍ら、出版社の漫画コンテストなどにも応募し入賞していました。学校行事のプログラムデザインを手がけるなど幅広い活動をしてきていました。高校3年生になってから英語構文の課題に集中して取り組み飛躍的に成績がアップしました。

<資格など>英語検定2級・漢字検定2級・文化祭実行委員責任者

英語の成績推移

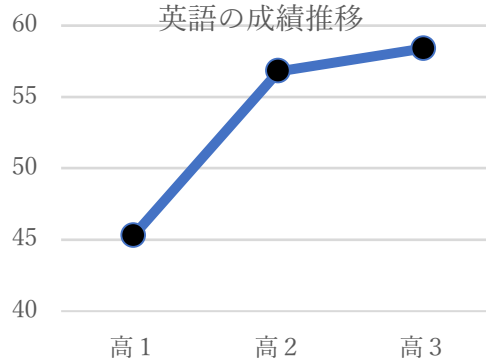


信州大学 人文学部 (中学校欠席日数 315 日)

中学2、3年生はほとんど出席しなかった生徒ですが、入学後に成績を伸ばしました。特に寮の英語学習で中学生の最初からやり直したことが大きいようです。非常に正義感の強い生徒で、一度決めたことは徹底してやり抜きました。大学は難関私立と国立で悩みましたが、校風から国立大学を選びました。

<資格など>英語検定2級・漢字検定2級

英語の成績推移

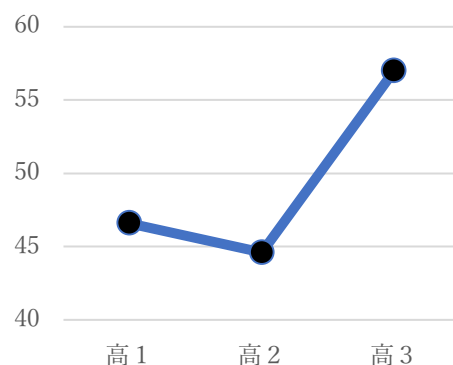


愛知大学 国際コミュニケーション学部 (中学校欠席日数 428 日)

中学3年間、ほとんど出席していません。勉強もしていなかったため、中学範囲の学習がすっぱり抜けている状態で入学しました。世界史に興味があり、夜は寮の先生と世界史の話題について話をしている姿をよく見かけました。高校3年生の時に成績を伸ばして志望校に合格してくれました。学校行事ではプログラム作成などで活躍してくれました。

<資格など>英語検定準2級・漢字検定2級・文化祭実行委員 (プログラム責任者)

英語の成績推移



よくあるご質問（寮生活 Q&A）

Q. いつ家に帰るの？

一斉帰省期間（3泊4日程度）や夏休み・冬休みを利用して毎月帰省できます。また希望する生徒は、帰省せずに寮に残る事もできます。ただし、お盆・お正月の間は寮を完全閉鎖します。令和3年度は、年間最大100日程度の帰省日数があります。

Q. 帰省のときの交通手段は？

近鉄電車を利用した場合の最寄駅は近鉄「東青山駅」です。駅まではスクールバスで送迎します。新入生の頃は、同じ方面の生徒たちと一緒に帰るように指導しています。

また、保護者の方が直接学校まで送迎していただくこともできます。

一斉帰省は、なるべく学校行事に合わせて行うように調整しておりますので、行事を見に来られた保護者の方と一緒に帰省する生徒も多くいます。



Q. 寮での服装は？

寮内では私服も可能ですが、多くの生徒は制定品の寮内着やジャージなどで過ごします。学校は制服・制定品着用が基本ルールです。また、荷物が多くならないように指導をしています。衣類はキャンパス内にあるクリーニングセンターで、洗濯・乾燥を行います。

Q. お布団は用意した方がいいですか？

学校で用意します。ご家庭から持ってきてもらう必要はありません。シーツなどは定期的に交換しています。

Q. 病気になったときは？

最寄りの提携医院へ通院します。風邪や発熱などの症状が軽い場合は、寮で就寝して対応します。授業時間中の生徒対応や食事の用意などは、寮の教員及び養護教諭が行います。



Q. ホームシックになってしまったら？

生徒から保護者の方に「帰りたい」等の連絡があった場合は、すぐに学校までお知らせください。学校⇄ご家庭の連携を取りながら進めていきます。特に、入学当初は実家が恋しくなるものです。これを乗り越えることで大きく成長します。毎月の帰省期間を上手く利用しながら、解消していきます。

Q. 寮でひきこもってしまうことはありませんか？

寮の部屋は個室ではありませんので、引きこもって出てこないという心配はしていません。もしその場合は、担任・寮ハウスマスターなど関係教員が連携を取って対応をいたします。

Q. 寮に訪問に行っても構いませんか？

可能です。事前に学校・担任にご連絡ください。

Q. 購買や自動販売機はありますか？

購買「クイックストア」や自動販売機が利用できます。学内では現金を持たせませんので、学内専用の電子マネー「クイカ」を利用して購入することができます。制服・制定品・文房具・生活用品・お菓子などを販売しています。（電子マネーは月2回チャージ可能。1回上限3000円まで）



Q. 本人への連絡方法は？

ご家庭からの連絡は、学校指定の携帯電話にさせていただくことができます。電話やメールで生徒にご連絡ください。ただし授業中や寮の自習中は携帯禁止としておりますので、学校にご連絡ください。

■携帯電話を学校制定品として使用

青山高校では au by KDDI と提携して学校専用 iPhone を導入しています。授業や課外活動での活用のほかにも、ご家庭との連絡に利用しています。マナー研修なども行い、SNS の使い方やルールを守ることを指導しております。

AOYAMA

不登校の子がなぜ「寮の学校」を選ぶのか？

家からも出られない子がなぜ寮を選ぶのか、と考える保護者や中学校の先生は多いと思います。ですが、これまで3500人以上の不登校を経験した子どもたちが寮生活を送り、卒業しました。不登校を経験した子どもが寮を選ぶには理由があり、環境を変えることで大きく成長することができます。

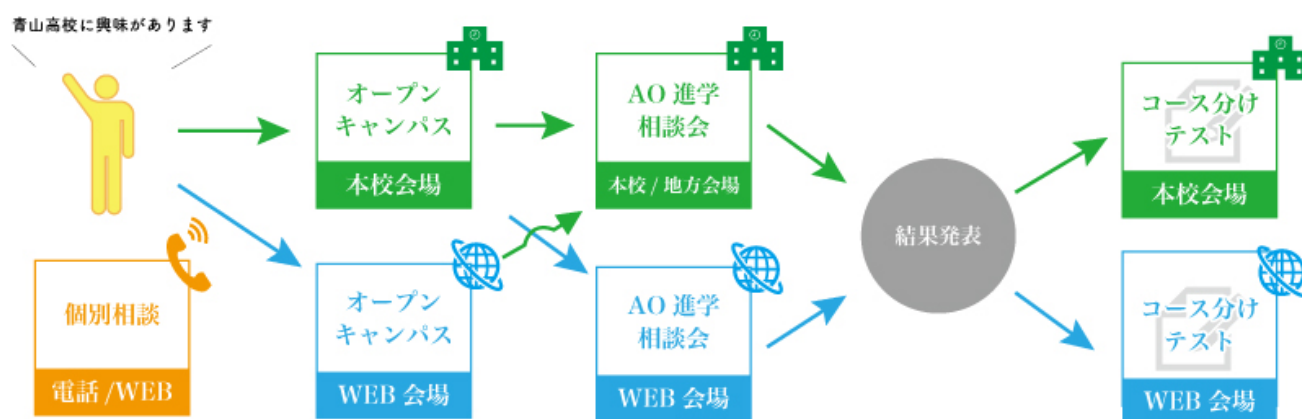
不登校を経験した子どもたちが、なぜ寮の学校選んだのかを聞いてみたところ、子どもたちは、「環境を変えたい」「誰も知らない所の方が良い」「知っている人がいない方が気楽」「普通の高校に行きたい。」と考えるようです。



長期欠席者に対応した A0 入学

まずは、青山高校のオープンキャンパスにお越しください。そして、実際にあなたの目で学校生活や不登校を乗り越えて頑張る生徒たちを見てください。また、青山高校では不登校を経験した生徒に配慮した入学制度「A0 入学」を導入しています。詳しくは青山高校 A0 入学ガイドをご覧ください。

■入学試験の流れ（長期欠席者対応）



■学科試験を免除し 併願受験が可能です

長期欠席者対応の A0 入学制度では、学科試験を免除しています。オープンキャンパスで見学を行い、AO 進学相談会に参加することで結果がわかります。A0 入学は他校との併願利用もできます。

■オンラインでの見学/受験ができます。

完全オンラインでの受験やコース分けテスト (WEB 会場) も実施しています。遠方の方などにご利用いただいております。



The Future 「未来につながる青山高校 不登校教育プログラム」 2021

発行：青山高等学校

〒515-2692 三重県津市白山町八対野 2739

TEL：059-262-4321（代） URL: <http://aoyama-h.ed.jp/>